



平成 20 年 4 月 11 日

各 位

会 社 名 特種東海ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 安本 昌司
(コード番号 3708 東証第一部)
問合せ先 財務・IR室長 三谷 充弘
(TEL 03-3281-8581)

生産設備の効率化に伴う特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上することいたしましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 2 月 8 日に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の内容

当社は、グループ全体での資産の効率化及び生産体制の再構築を推進しております。その一環として、当社連結子会社が保有する生産設備の停機等により減損処理を行い、平成 20 年 3 月期決算において減損損失等 730 百万円を特別損失に計上する予定であります。

(1) 特殊紙抄紙機

経営統合によるシナジーを活かし、特殊紙事業における事業整理及び生産設備の集約化を進めております。これに伴い、当社連結子会社である東海パルプ(株)が保有する特殊紙抄紙機 2 台について減損処理を行うものであります。

種 類	場 所	金 額
機械装置	静岡県島田市	410 百万円

(2) 工業用水旧導水管

東海パルプ(株)において、安定操業を維持するため、耐震性に配慮した工業用水新導水管を整備しました。当該設備の稼動に伴い、旧導水管について減損処理等を行うものであります。

種 類	場 所	金 額
構築物、機械装置	静岡県島田市	190 百万円

(3) 印刷用紙抄紙機

当社連結子会社である明治製紙(株)は、採算性の改善が見込めない印刷用紙事業から撤退し、経営資源をコア事業である家庭紙事業に集中させ、経営体質の強化を図ります。これに伴い、印刷用紙抄紙機について減損処理を行うものであります。

種 類	場 所	金 額
機械装置	静岡県富士市	130 百万円

2. 業績予想の修正

平成 20 年 3 月期 連結通期業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	89,000	1,300	1,000	300
今回修正予想 (B)	87,600	200	50	△1,300
増減額 (B-A)	△1,400	△1,100	△950	△1,600
増減率 (%)	△1.6	△84.6	△95.0	—

3. 修正の理由

上記1. の特別損失を計上したことに加えて、原燃料価格が一段と高騰したことなどにより、利益面につきまして前回予想を下回る見込みであります。個別業績予想につきましては、修正はございません。

なお、古紙配合率問題の影響につきましては未確定であり、これによる業績の見通しに変化がある場合には速やかにお知らせいたします。

(注) 上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しておりますので、実際の決算数値とは異なる可能性があります。

以上